



令和6年度から10年間の中心市街地のまちづくりの方向性を示す
中心市街地活性化“新”ビジョン

☎ 商業振興課 (☎内線4266)

まちなかをみんなでつかって、それぞれの暮らしをつくっていく。
 その積み重ねが「ここにしかないまち」になる。

中心市街地(まちなか)の令和6年度から10年間のまちづくりの方向性を示すビジョン「つかう中津川」みんなが「ここにしかないまち」になる。このビジョンを実現するために、これまでのまちなかを知るために勉強し、まちなかに関わる方々が今感じていることや考えていることを直接聞き取り、統計調査の結果の活用や実地調査を行い、現状とニーズを把握したうえで検討しました。

その結果、まちなかには「魅力」となるものはたくさんあるものの、その多くが「使いづらい」「使えない」かどうかかわからない」などの理由であまり使われていませんでした。

「ここにしかないまち」になる

このような状況を変えるために、子ども、学生、事業者、まちなかで暮らす人、

まちなかに来る人、それぞれの暮らしやニーズに合わせて、今あるものを使い豊かな暮らしのシーンを作っていくことで「ここにしかないまち」になり、エリアの価値を高めていくというビジョンになりました。

ビジョンの実現に向けて

現在、このビジョンを実現させるために実施する個別・具体的な事業実施計画「中心市街地まちづくりアクションプラン」を策定しており、今後、ヒアリングや実地調査を行う予定です。



中山道を新たな価値創造のために「つかう」

先人が使ってきたまちなかを、時代に合わせて使うことで磨き上げます。中山道沿いにある歴史・文化・街並みを使って、ここにしかないものを受け継ぎ、次につなげていきます。



楽しくまちを歩くために「つかう」

まちなかを、歩きやすく住みやすくします。居住や観光において、歩きやすいまちにすることで、たくさんの人を集めます。人があつまることで、そこに新たな楽しみが生まれます。



まちの玄関・ロビーとしておもてなしのために「つかう」

まちなかを、人が行き交う場所にします。駅前がまちにとっての「玄関・ロビー」のような場所です。まちの雰囲気を伝え、行き交う人にやさしいおもてなしの場所にします。



子どものワクワクのために「つかう」

まちなかを、親子で過ごしやすくワクワクできる場所にしていきます。ひと・まちテラスをはじめ、公園や広場、河川、時にはまちなか全体を使って、親子に遊びと体験の機会を作ります。



学生の学びのために「つかう」

まちなかを、学生が学びの機会をつくる居場所にします。まちをつかって学び、学生とまちが共に成長する場所にするすることで、常に新しい視点を持ち続け、変化していくことができます。



新しく事業を始めるために「つかう」

まちなかを、挑戦者を応援し育てる場所にします。使いやすいまちなかを作り、リノベーションやスタートアップなどのサポートを行うことで、皆さんのビジネスやライフスタイルにインパクトを与えます。